

農経新聞

2016年(平成28年)9月19日(月曜日)

北足立市場で品種見本市

「機能性」に着目

タマネギ、食用ホオズキなど

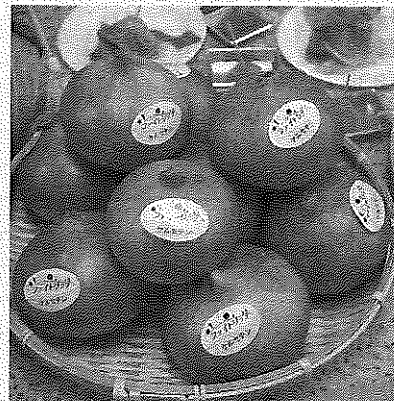
青果育種研

卸会社、種苗会社などで組織する青果育種研究会(会長＝右澤均・東京千住青果社長)は、東京・北足立市場で第153回品種見本市を開催した。今回は「機能性」や「栄養価」に着目。見本市に先立って行われたセミナーでは、市場が立地する足立区に本社のある東京デリカフーズが「野菜のチカラを知ろう」とこんな



にある野菜の機能性」をテーマに講演した。見本市では種苗16社が推奨品種を紹介し、機能性や栄養面に特徴のある品種も見られた。このうちバイオニアエコサイエンス(東京都港区)では、ミニトマト3品種をPR。このうちオレンシ色の「ピッコロカナリア」はβ

カロテンが従来のオレンシ系ミニトマトに比べて2.5倍含まれている。茶色と緑色のストライプ柄の「フロッディタイガー」はリコペンがピンク系大玉トマトに比べ6倍多く含まれている。ナント種苗(奈良県橿原市)の「紫奏子」は、葉が紫色のハクサイ。一



「フロッディタイガー」(上)とケルセチンを多く含む「ゲルたま」

良さでも注目を集めた「キャンディーラタン」



味も甘く、加熱するときにおいしくなるという。オレンシ千果はカロテンを従来の赤色ミニ品種に比べて約3倍含む。

オレンシ品種特有のクセがなく食べやすい。珍しい目で注目を集めたのは、大和農園(奈良県天理市)の食用ホオズキ「キャンディーランタン」。直径2センチほどの果実は糖度が12～15度となり、同社では「マンゴーのような味と香り」とも。食用ホオズキには「タミソール」や「ピタミンA」などが含まれている。

を豊富に含んだ野菜「ファイトリッチ」シリーズのうち秋まきタマネギ「ゲルたま」と、オレンシ色のミニトマト「オレンシ千果」を紹介。ゲルたまはポリフェノールの一種であるケルセチンを従来の秋まきタマネギに比べ約2倍含んでいる。味にコ